



八千代市イメージキャラクター「やっち」

やちよ市議会だより

平成27年 第1回定例会

平成27年度一般会計予算案を修正可決、32議案、3発議案を可決、8請願を採択

平成27年八千代市議会第1回定例会は、2月24日～3月20日までの25日間の日程で開催されました。一般質問は、3月2日～4日までの3日間で、18名が市政について質問しました。各委員会は、5日～16日に開催され、付託された議案、請願、陳情を審査しました。

◆市長提出議案等の内訳

議案	平成27年度予算	7件
	平成26年度補正予算	6件
	条例の制定	1件
	条例の一部改正	17件
	条例の廃止	3件
	指定管理者の指定	3件
	人事	2件
計		39件

市長から平成27年度予算案、条例の制定案など議案39件が提出され、審議の結果、議案4件を否決、2件を不同意、平成27年度一般会計予算案を修正可決、その他の議案を原案のとおり可決しました。
このほか、請願19件、発議案（議員提出議案）8件を審議し、請願8件を採択、発議案3件を可決し、閉会しました。
(一般質問等は2・3面に、議案等の概要・議決結果は3・4面に掲載)

平成27年 第2回臨時会

27年度国民健康保険事業特別会計予算案を可決

第2回臨時会が3月30日に開催され、第1回定例会で否決された国民健康保険事業に係る2議案が、市長より修正・再提出されました。定例会では保険料率の大幅改定、葬祭費及び人間ドック受診費用助成の減額支給について、市民や議会への説明が不足する中で大幅な市民負担増であることなどを理由に全会一致での否決となりましたが、臨時会で提出された議案は、保険料率の改定幅の縮小、葬祭費の減額支給の取りやめ等、議会での意見が反映されたものです。審議の結果、2議案とも原案のとおり可決され、あわせて左記の附帯決議がされました。

1. 市民に対し、国民健康保険料の料率改定について周知徹底を図ること。
2. 平成27年度新規事業のデータヘルス計画策定を着実に推進すること。
3. 本市において有効な健康増進施策について早期実施に向けた調査研究をすること。

地方創生調査特別委員会を設置

国が掲げる地方創生について本市議会としても地域の課題に取り組み、制度の活用について研究するため、左記委員会を設置しました。

地方創生調査特別委員会（委員は五十音順）

- 委員長 大塚 裕介
副委員長 山口 勇
委員 植田 進 小澤 宏司 木下 映実
高山 敏朗 成田 忠志 松崎 寛文

予算審査特別委員会を設置

第1回定例会において、平成27年度予算案を審査するため、予算審査特別委員会を設置されました。3月9日から12日の間、審査が行われ、採決は予定を変更し、16日に行われました。審査の結果、付託された7議案のうち、一般会計予算は修正可決、国民健康保険事業特別会計予算は原案否決、その他の議案については原案可決となりました。

以下は、委員長報告における執行機関に対する意見・要望事項です（要約）。

意見・要望事項

一般会計

- ▽経常的経費：大幅削減がななく、多くの事業の削減によって市民サービスの大幅削減がされている中、対策が不十分
- ▽市民活動団体支援金：事業開始3か月前の予算減額決定は、団体の事業継続を困難にさせる
- ▽後期基本計画及び公共施設等総合管理計画（アクションプラン）の策定：本市独自の課題を検討し、計画に反映を
- ▽ふれあいプラザ団体送迎バス：年間約7千人もの利用がある事業の廃止は、団体の活動に支障を来す
- ▽生きがい対策事業：ふれあい大学の定員に応じたコース振り分けなど利用者に配慮された工夫は評価できる
- ▽子ども相談センター事業：専門職を増員することで、相談体制の確立を
- ▽予防接種事業：接種後に副反応の事例が報告されているため、HP等による市民への情報提供を強化されたい
- ▽公民館の運営：地域での生涯学習施設としての役割が増す中、正規職員の配置人数等の削減は理解に苦しむ
- ▽市内小・中学校の体育施設照明料：27年度より利用団体に負担を求めるにもかかわらず団体への説明時期が遅い
- ▽集会施設管理運営補助金：当初予算の計上がないのは自治会活動の低下を招き地域コミュニティの破壊につながる
- ▽防災啓発事業：自主防災組織率が近年伸びていないため、計画的な地域防災に係る体制づくりの推進を
- ▽観光推進事業：新たな市の観光発掘のため、県や商工会議所との連携を密にし、積極的な情報発信を行うべき
- ▽西八千代北部特定土地区画整理事業：市税の増収が図れるため早期完了の取り組みを
- ▽勝田台駅北口広場：利用形態が当初とは大きく異なっているため用地借上げの継続について検討すべき
- ▽青少年センター運営事業：各関係専門機関との一層の連携を。また、子供の見守り活動に防災行政無線の活用を
- ▽国民健康保険事業特別会計
- ▽保険料の増額：今までにない市民への過度な負担につながるにもかかわらず、増額の段階的実施などによる上げ幅抑制の取り組みが見えない
- ▽公共下水道事業会計
- ▽下水道使用料：さらなる値上げの懸念があるため事業経営の健全化に努めること

修正案の概要

歳入について、土地開発基金は土地と現金で構成されており、7億円必要とされている定額運用基金でありながら、基金中の現金が1億8千万円不足となる。緊急的な土地取得の必要性が残る以上、基金の目的に反した取り崩しを認めることはできないため、全額を減額し、市債管理基金に振り替えること。

歳出について、27年度から廃止となるふれあいプラザ団体送迎バス及び各福祉バス委託料、高齢者等及び障害者配食サービス費助成金などの扶助費、集会施設管理運営補助金などの補助金の復活、並びに減額されている補助事業を増額する。

附帯決議

1. 27年度のふれあいプラザ団体送迎バス及び福祉バスについて、27年度予算及び26年度予算からの繰越明許費を活用し、バス利用者の便益が26年度事業より下回らないようにすること。

2. 27年度予算中、ふれあいプラザ団体送迎バス及び福祉バスに係る議会修正部分について、前述の1を満たし、なお余剰となる金額は執行せず、補正予算において減額対応すること。

以上、市長において対処するよう求める附帯決議案を賛成者多数にて可決し、本案に同決議を付すことになりました。

予算審査特別委員会（11名）

- 委員長 横山 博美
副委員長 木下 映実
委員 大塚 裕介 河野 慎一
末永 隆 高山 敏朗
塚本 路明 成田 忠志
橋本 淳 林 隆文
堀口 明子



第1回定例会において、平成27年度予算案を審査するため、予算審査特別委員会を設置されました。3月9日から12日の間、審査が行われ、採決は予定を変更し、16日に行われました。審査の結果、付託された7議案のうち、一般会計予算は修正可決、国民健康保険事業特別会計予算は原案否決、その他の議案については原案可決となりました。

以下は、委員長報告における執行機関に対する意見・要望事項です（要約）。

意見・要望事項

一般会計

- ▽経常的経費：大幅削減がななく、多くの事業の削減によって市民サービスの大幅削減がされている中、対策が不十分
- ▽市民活動団体支援金：事業開始3か月前の予算減額決定は、団体の事業継続を困難にさせる
- ▽後期基本計画及び公共施設等総合管理計画（アクションプラン）の策定：本市独自の課題を検討し、計画に反映を
- ▽ふれあいプラザ団体送迎バス：年間約7千人もの利用がある事業の廃止は、団体の活動に支障を来す
- ▽生きがい対策事業：ふれあい大学の定員に応じたコース振り分けなど利用者に配慮された工夫は評価できる
- ▽子ども相談センター事業：専門職を増員することで、相談体制の確立を
- ▽予防接種事業：接種後に副反応の事例が報告されているため、HP等による市民への情報提供を強化されたい
- ▽公民館の運営：地域での生涯学習施設としての役割が増す中、正規職員の配置人数等の削減は理解に苦しむ
- ▽市内小・中学校の体育施設照明料：27年度より利用団体に負担を求めるにもかかわらず団体への説明時期が遅い
- ▽集会施設管理運営補助金：当初予算の計上がないのは自治会活動の低下を招き地域コミュニティの破壊につながる
- ▽防災啓発事業：自主防災組織率が近年伸びていないため、計画的な地域防災に係る体制づくりの推進を
- ▽観光推進事業：新たな市の観光発掘のため、県や商工会議所との連携を密にし、積極的な情報発信を行うべき
- ▽西八千代北部特定土地区画整理事業：市税の増収が図れるため早期完了の取り組みを
- ▽勝田台駅北口広場：利用形態が当初とは大きく異なっているため用地借上げの継続について検討すべき
- ▽青少年センター運営事業：各関係専門機関との一層の連携を。また、子供の見守り活動に防災行政無線の活用を
- ▽国民健康保険事業特別会計
- ▽保険料の増額：今までにない市民への過度な負担につながるにもかかわらず、増額の段階的実施などによる上げ幅抑制の取り組みが見えない
- ▽公共下水道事業会計
- ▽下水道使用料：さらなる値上げの懸念があるため事業経営の健全化に努めること

修正案の概要

歳入について、土地開発基金は土地と現金で構成されており、7億円必要とされている定額運用基金でありながら、基金中の現金が1億8千万円不足となる。緊急的な土地取得の必要性が残る以上、基金の目的に反した取り崩しを認めることはできないため、全額を減額し、市債管理基金に振り替えること。

歳出について、27年度から廃止となるふれあいプラザ団体送迎バス及び各福祉バス委託料、高齢者等及び障害者配食サービス費助成金などの扶助費、集会施設管理運営補助金などの補助金の復活、並びに減額されている補助事業を増額する。

市民クラブ

代表質問

■林 隆文 議員
平成27年度予算編成について
財政基盤確立のための歳入確保に向けた取り組みは、

■大塚 裕介 議員
予算審査特別委員会での指
野生物の被害について
今後の鳥獣被害対策と
捕獲対象の拡大について

個別質問

■江野澤 隆之 議員
土地改良事業について
桑橋地区での水田の再基
盤整備の事業化に向けた調整
にかかる現在の進捗状況は、

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
塚本 淳 議員
自由民主党
代表質問



公明党

代表質問

■緑川 利行 議員
国の補正予算活用
のプレミアム付商品券
の活用について

■山口 勇 議員
代表質問
山口 勇 議員
代表質問

摘、要望事項

27年度の予算案における減
額削減は地域コミュニティ
の破壊としか思えないため、
次の指摘、要望を行いました。

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
塚本 淳 議員
自由民主党
代表質問

自由民主党

代表質問

■塚本 淳 議員
自由民主党
代表質問
自由民主党
代表質問

新みんなの広場

代表質問

■原 弘志 議員
代表質問
代表質問

個別質問

■高山 敏朗 議員
個別質問
個別質問

日本共産党

代表質問

■植田 進 議員
代表質問
代表質問

■林 利彦 議員
代表質問
代表質問

自由民主党

代表質問

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
自由民主党
代表質問

新みんなの広場

代表質問

■原 弘志 議員
代表質問
代表質問

個別質問

■高山 敏朗 議員
個別質問
個別質問

日本共産党

代表質問

■植田 進 議員
代表質問
代表質問

■林 利彦 議員
代表質問
代表質問

自由民主党

代表質問

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
自由民主党
代表質問

新みんなの広場

代表質問

■原 弘志 議員
代表質問
代表質問

個別質問

■高山 敏朗 議員
個別質問
個別質問

日本共産党

代表質問

■植田 進 議員
代表質問
代表質問

■林 利彦 議員
代表質問
代表質問

自由民主党

代表質問

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
自由民主党
代表質問

新みんなの広場

代表質問

■原 弘志 議員
代表質問
代表質問

個別質問

■高山 敏朗 議員
個別質問
個別質問

日本共産党

代表質問

■植田 進 議員
代表質問
代表質問

■林 利彦 議員
代表質問
代表質問

自由民主党

代表質問

■大塚 裕介 議員
自由民主党
代表質問
自由民主党
代表質問

新みんなの広場

代表質問

■原 弘志 議員
代表質問
代表質問

個別質問

■高山 敏朗 議員
個別質問
個別質問

答弁者の略称は、(市)：市長、(副)：副市長、(総)：総務企画部、(財)：財務部、(健)：健康福祉部、(子)：子ども部、(生)：生涯学習部、(安)：安全環境部、(都)：都市整備部、(産)：産業活力部、(会)：会計管理者、(選)：選挙管理委員会、(監)：監査委員、(農)：農業委員会、(教)：教育委員会、(消)：消防本部、(水)：上下水道局 をそれぞれ表します。

2

3

4

5

6

7

8

9

